

■石田一松 演歌師・政治家。戦時下に時局風刺の“ノンキ節”で一世を風靡、〈敗戦〉後は、平和・安保両条約に反対。

いしだいちまつ

教科書疑獄・1902＝ 広島県府中で生まれる。

日露戦争終・1905＝ 3歳：実母と生別し、

以後、4人の継母の多くから虐められながら育ち、

父が米相場に失敗したため、苦学して、

大逆事件判決1911＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝10歳：

第一次大戦始1914＝12歳：私立明道中学校に入学。

暴れん坊で角力部に属し、多数の沖仲士と大喧嘩して退学、

広島にいられなくなって、上京し、レンズ工を経て、

大暴落・・・1920＝18歳：法政大学予科に入学、_学費を稼ぐため、添田唾禅坊らの{東京倶楽部}に入り、演歌師となり、

原敬首相暗殺1921＝19歳：

美声で人気を集め、流しをしながら苦学し、

関東大震災・1923＝21歳：この頃、*のちに代表作となる“ノンキ節”を作曲。

円本時代始・1926＝24歳：ようやく卒業。

世界恐慌・・・1929＝27歳：_時事小唄で認められ、

海軍軍縮条約1930＝28歳：_「酋長の娘」を作詞・作曲、

満州事変・・・1931＝29歳：_「噺中村大尉」を歌って、いずれも大ヒットし、レコード創生期を飾る。

五一五事件・1932＝30歳：*柳家金語楼の推輓で{吉本興業}の専属となり、東京浅草の{万成座}で“インテリ・時事小唄・法学士”の看板を掲げて寄席芸人となった。

_代表作“ノンキ節”などの辛辣な時局風刺のため、度々官憲から出演停止を命じられるも、圧倒的人気、

日中戦争始・1937＝35歳：

健保+総動員 1938＝36歳：

日米開戦・・・1941＝39歳：

敗戦・・・1945＝43歳：原爆投下で、広島にいた兄弟姉妹全員が死去。映画「東京五人男」に出演。

新憲法公布・1946＝44歳：著書「のんき哲学」。*戦後初の衆議院議員に当選、タレント議員第1号となる。

新憲法施行・1947＝45歳：

_以後、4回当選し、代議士として活躍する一方、芸能活動も続け、

独立回復・・・1951＝49歳：平和・安保両条約に反対票を投じ、国民民主党を脱党した。

TV放送始・・・1953＝51歳：_落選して引退。

*その後も、ヒロポン中毒に悩まされながらも、寄席に出演し続けたが、

国連加盟・・・1956＝54歳：胃癌で、_没した。